



令和4年度 学校だより

はがきた

第12号 令和5年3月16日

教育目標

『学ぶ子 守る子 がんばる子』
集中して学び、生命と人権を
守り、生きる力の基礎を身に
付けた子どもを育成する。

1年間ありがとうございました！

21日の春分の日を間近にし、めっきりと春らしくなってきました。保護者の皆様にはますます御健勝のことと思います。3月に入り半月が経ち、明日はいよいよ卒業式を迎えることになりました。6年生の保護者の皆様、関係の皆様、たいへんおめでとうございました。また、今まで御協力いただきましたことに感謝申し上げます。6年生の立派に成長した姿は、芳賀北小のリーダーとしてとても頼もしいものでした。間違いなく中学校で活躍してくれるものと思います。それを見て成長してきた在校生の今後の活躍も楽しみです。

さて、今月号をもちまして、私の学校だよりは最後となります。今まで、私のつたないたよりにおつきあいいただきまして本当にありがとうございました。児童の一生懸命な姿と保護者の皆様、地域の皆様の御協力で、ここまで積み重ねることができました。今後の皆様の御健康と御多幸をお祈りしております。たいへんありがとうございました。

6年生のみなさん、卒業おめでとう!!



3/17(金)に卒業式を控え、1日に「6年生を送る会」を行いました。この行事は、普段から清掃と一緒に活動している1～6年生までの縦割り班で、6年生との楽しい最後の思い出を作ろうという行事です。ドッチボール、ドッチビー、なわとび、へびおに、…など種目は様々ですが、それぞれが楽しく競技していました。受けたボールを下級生に渡している6年生がいたり、きちんと並ばせて静かに待たせる5年生がいたり、芳賀北小のリーダーの引継ぎが確実になされているように感じました。このように、最上級生としてのあるべき姿を見せてくれた6年生がもうすぐ卒業だと思うと、期待も大きいのですが、やはり寂しさを感じます。すばらしい6年生でした。卒業おめでとうございます。

「きらきら号」薬物乱用防止広報車

2/28(火)に6年生を対象とした「薬物乱用防止教室」が行われました。映像を使ったり、質問を投げかけたりと、いろいろな方法を使って、薬物がなぜそんなに怖いのか、なぜそんなに注意しなければならないのかをわかりやすく教えていただきました。大人に近づくにつれて、自分でしっかりと判断しなければならないことが増えてきます。そのためにも、知識として知っていることはたいへん大切なことだと思います。

ボランティア



本年度本校では様々なボランティアの方にお世話になりました。「スクールサポーターはがきた」の皆様には、毎週金曜日に清掃をお手伝いいただきました。「にじいろ会」の皆様には、月1回読み聞かせを行っていただきました。他にも、授業支援や見守りなど多くの皆様のお陰で本校の教育活動は成り立っています。ありがとうございます。

4月の主な行事予定

- | | | | |
|-------|--------------------|-------|-------------------|
| 1(土) | 年度始休業(～4/9) | 17(月) | 身体計測 |
| 3(月) | 新任者着任 | 18(火) | とちぎっ子学習状況調査(4,5年) |
| 7(金) | 創立記念日 | | 全国学力学習状況調査(6年) |
| 10(月) | 第1学期始業式 新任式 登校指導 | | 腎臓検診1次 |
| | 通学班編制 入学式準備 | 19(水) | 授業参観 保護者会 |
| 11(火) | 入学式 通学班編制 | | PTA総会 |
| 12(水) | 離任式 1年特別日課(～14(金)) | 24(月) | 家庭訪問(～28(金)) |
| 14(金) | 避難訓練①(地震・火災) | 29(日) | 昭和の日 |



☆児童たちの活躍・学校生活の様子☆

【6年生を送る会】



【読み聞かせボランティア にじいろ会】



【薬物乱用防止広報車
「きらきら号」】



【清掃・消毒ボランティア スクールサポーターはがきた】



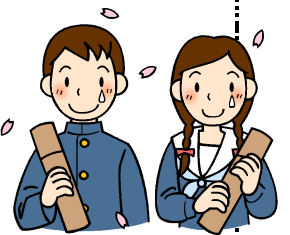
あ り が と う

私は「ありがとう」という言葉が大好きです。それは、「ありがとう」という言葉は感謝を伝える言葉であるとともに、相手の存在を認める言葉だからです。

長く教師を続けていると、人との出会いはとても多くなります。児童生徒やその保護者の皆様、先生方、地域の方々と、芳賀町の人口を遥かに超えているのではないのでしょうか。芳賀北小に赴任してきたときには、教え子が保護者となっていてとてもうれしい再会ができました。そして何よりも、目の前にいる児童のみなさんの活躍が、たくさんのうれしいや楽しいをもたらしてくれました。人と関わることは、ときには煩わしいことですが、それ以上の感動があるものだと思います。

私は卒業生に必ず伝えることがあります。それは、「命を大切に、生き抜いてほしい」ということです。教え子の中には、若くして亡くなった子が何人かいます。葬儀に参列したとき、とてもいたたまれない気持ちになったことを覚えています。生きたくても生きられない人達がいる、その人の分まで生きてほしいという願いを込めて伝えています。命の価値はその長さではないと思いますが、生きられるだけ生きてほしい、そう願っています。多くの方が自分の周りに居て、心配してくれているのですから。大切なのは、限りある自分の命をどう生き、どう生かしていくかだと思います。全てにおいて満足という人生はまずないでしょう。様々な失敗と挫折、苦労を繰り返すことが多いものです。でも、立ち向かうことで、多くのうれしいや楽しいを味わうことができます。特に人を幸せにしたり、人の役に立ったりしたときは格別です。たくさんのうれしいや楽しいを味わうことができるよう、自分と自分以外の人を大切に、「ありがとう」と言ってもらえる人をめざしていきたいものです。

芳賀北小に勤務したこの3年間、私は多くのみなさんにお世話になりました。コロナ渦にあり活動が制限された中でしたが、教室内外の清掃消毒を始め、読み聞かせや授業補助など多くの皆様に助けていただきました。その一つ一つが本校の安心・安全につながっています。まさに地域とともにある学校を感じさせていただきました。関わっていただいた全ての皆様との心温まる素晴らしい出会いに感謝申し上げます。今後も一層の御協力をお願いいたします。たいへんありがとうございました。



※芳賀北小ホームページでは、カラーで学校だよりを掲載しています。
ぜひ御覧ください。